



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東北新社

コード番号 2329 URL <http://www.tfc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村 徹

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営管理統括部長 (氏名) 伊藤 良平 TEL 03-5414-0211

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	29,783	10.2	1,486	65.9	2,215	122.3	1,594	189.5
28年3月期第2四半期	27,017	△5.1	896	△63.7	996	△62.3	550	△60.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 49百万円 (△65.2%) 28年3月期第2四半期 142百万円 (△92.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	35.49	-
28年3月期第2四半期	12.26	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	92,721	68,165	73.0
28年3月期	94,663	68,880	72.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 67,672百万円 28年3月期 68,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	17.00	17.00
29年3月期	-	0.00	-	-	-
29年3月期（予想）	-	-	-	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,659	9.6	3,810	△5.2	4,657	3.9	2,732	△1.8	60.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期2Q	46,735,334株	28年3月期	46,735,334株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,789,779株	28年3月期	1,789,779株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期2Q	44,945,555株	28年3月期2Q	44,945,555株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高29,783百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益1,486百万円(前年同期比65.9%増)、経常利益2,215百万円(前年同期比122.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,594百万円(前年同期比189.5%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 広告プロダクション

広告プロダクションの売上高は、前年同期に比べ8.1%増の12,403百万円となり、営業利益は前年同期に比べ54.7%増の1,279百万円となりました。CM制作部門において、受注が前年同期に比べて増加し、また利益率も改善したため、増収増益となりました。

② コンテンツプロダクション

コンテンツプロダクションの売上高は、前年同期に比べ5.1%減の6,960百万円となり、営業利益は前年同期に比べ18.1%減の772百万円となりました。映像制作部門の受注が、前年同期に比べて減少したこと等により、減収減益となりました。

③ メディア

メディアの売上高は、前年同期に比べ62.2%増の8,122百万円となり、営業損失は144百万円(前年同期は696百万円の利益)となりました。株式会社スター・チャンネルの連結子会社化の影響により増収となりましたが、同チャンネルの成長強化に伴う投資費用負担により減益となりました。

④ プロパティ

プロパティの売上高は、前年同期に比べ1.4%増の3,885百万円となり、営業損失は89百万円(前年同期は1,359百万円の損失)となりました。『牙狼<GARO>』関連の売上が前年同期に比べて増加したこと、また前年同期に計上された大型映画作品の償却が当第2四半期には発生しなかったこと等により、増収となり損失は縮小しました。

⑤ 物販

物販の売上高は、前年同期に比べ0.3%減の3,240百万円となり、営業損失は60百万円(前年同期は93百万円の損失)となりました。業務用記録メディアの売上減少により減収となりましたが、新規出店によるスーパーマーケットの利益増により、損失は縮小しました。

(注) 上記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んだ金額を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、92,721百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,942百万円減少いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少1,004百万円、映像使用権の減少675百万円、仕掛品の増加1,328百万円及び投資有価証券の減少419百万円等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、24,555百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,227百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,998百万円及び短期借入金の増加650百万円等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、68,165百万円であり、前連結会計年度末に比べ714百万円減少いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加830百万円、その他有価証券評価差額金の減少503百万円及び為替換算調整勘定の減少897百万円等であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ59百万円減少し28,206百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の獲得は、849百万円(前年同期は914百万円 前年同期比7.1%減)となりました。これは、仕入債務の減少1,998百万円、法人税等の支払563百万円等による資金の使用があったものの、税金等調整前当期純利益2,215百万円、売上債権の減少1,001百万円等による資金の獲得があった結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の使用は、315百万円(前年同期は506百万円 前年同期比37.6%減)となりました。これは、定期預金の払戻による収入3,530百万円等による資金の獲得があったものの、定期預金の預入による支出3,585百万円、有形固定資産の取得による支出178百万円等による資金の使用があった結果であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の使用は、445百万円(前年同期は683百万円 前年同期比34.8%減)となりました。これは、短期借入金の純増加額650百万円等による資金の獲得があったものの、リース債務の返済による支出301百万円、配当金の支払764百万円等による資金の使用があった結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成28年11月9日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりですが、第2四半期連結累計期間においてCM制作事業及び日本語版制作事業が好調に推移していること、また第3四半期以降のライツ事業において、当初予想(平成28年5月20日公表)には織り込んでいなかった『牙狼<GARO>』関連事業のライセンス収入が見込まれていること等により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、当初予想を上回る見込みです。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づいて作成しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,838,836	30,555,546
受取手形及び売掛金	16,165,793	15,161,551
有価証券	959,912	775,517
映像使用权	5,828,721	5,152,735
仕掛品	2,862,442	4,190,444
その他のたな卸資産	707,200	664,095
その他	3,524,232	3,178,149
貸倒引当金	△42,993	△34,812
流動資産合計	60,844,147	59,643,228
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,921,114	12,876,554
その他(純額)	6,292,828	6,035,992
有形固定資産合計	19,213,942	18,912,547
無形固定資産		
のれん	2,183,478	2,083,675
その他	190,537	167,534
無形固定資産合計	2,374,016	2,251,210
投資その他の資産		
投資有価証券	10,409,873	9,990,032
その他	2,056,924	2,152,050
貸倒引当金	△235,214	△227,537
投資その他の資産合計	12,231,583	11,914,545
固定資産合計	33,819,543	33,078,303
資産合計	94,663,690	92,721,531

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,584,724	12,585,862
短期借入金	1,720,000	2,370,000
未払法人税等	535,302	789,605
賞与引当金	724,634	747,000
その他	3,418,041	3,575,191
流動負債合計	20,982,702	20,067,659
固定負債		
役員退職慰労引当金	384,761	357,243
退職給付に係る負債	1,853,312	1,873,409
その他	2,562,278	2,257,235
固定負債合計	4,800,352	4,487,887
負債合計	25,783,055	24,555,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,487,183	2,487,183
資本剰余金	3,729,851	3,729,851
利益剰余金	61,315,761	62,146,567
自己株式	△1,731,353	△1,731,353
株主資本合計	65,801,442	66,632,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,573,241	2,069,792
繰延ヘッジ損益	△2,385	—
為替換算調整勘定	158,890	△738,508
退職給付に係る調整累計額	△356,678	△290,982
その他の包括利益累計額合計	2,373,067	1,040,301
非支配株主持分	706,125	493,435
純資産合計	68,880,635	68,165,984
負債純資産合計	94,663,690	92,721,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	27,017,073	29,783,632
売上原価	21,366,584	23,092,564
売上総利益	5,650,489	6,691,068
販売費及び一般管理費	4,754,476	5,204,437
営業利益	896,012	1,486,630
営業外収益		
受取利息	9,623	8,530
受取配当金	60,718	74,135
持分法による投資利益	—	454,028
為替差益	2,129	136,407
経営指導料	77,021	56,606
その他	56,632	64,018
営業外収益合計	206,125	793,727
営業外費用		
支払利息	24,805	7,218
持分法による投資損失	64,444	—
不動産賃貸原価	4,033	7,100
支払手数料	10,274	42,161
その他	2,026	8,622
営業外費用合計	105,584	65,102
経常利益	996,553	2,215,255
特別利益		
固定資産売却益	48	—
特別利益合計	48	—
税金等調整前四半期純利益	996,602	2,215,255
法人税等	441,948	833,014
四半期純利益	554,654	1,382,240
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,745	△212,690
親会社株主に帰属する四半期純利益	550,909	1,594,931

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	554,654	1,382,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△516,288	△504,407
繰延ヘッジ損益	—	2,385
為替換算調整勘定	93,588	△871,441
退職給付に係る調整額	6,242	63,608
持分法適用会社に対する持分相当額	3,888	△22,910
その他の包括利益合計	△412,567	△1,332,766
四半期包括利益	142,086	49,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,341	262,165
非支配株主に係る四半期包括利益	3,745	△212,690

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	996,602	2,215,255
減価償却費	524,067	501,272
のれん償却額	55,833	99,803
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△875	△15,857
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,772	22,366
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△113,712	△27,517
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	46,617	20,096
受取利息及び受取配当金	△70,342	△82,665
支払利息	24,805	7,218
持分法による投資損益(△は益)	64,444	△454,028
売上債権の増減額(△は増加)	971,730	1,001,144
たな卸資産の増減額(△は増加)	△582,508	△609,030
繰延消費税等の増減額(△は増加)	△25,795	128,297
前渡金の増減額(△は増加)	307,086	△40,618
仕入債務の増減額(△は減少)	△840,195	△1,998,861
未払消費税等の増減額(△は減少)	△673,335	△114,031
前受金の増減額(△は減少)	513,058	△66,530
その他	△135,626	660,036
小計	1,053,082	1,246,348
利息及び配当金の受取額	109,058	123,919
利息の支払額	△25,261	△7,188
法人税等の支払額	△455,439	△563,447
法人税等の還付額	232,667	49,939
営業活動によるキャッシュ・フロー	914,107	849,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,036,516	△3,585,122
定期預金の払戻による収入	3,981,802	3,530,381
有形固定資産の取得による支出	△419,771	△178,437
有形固定資産の売却による収入	55	51,300
無形固定資産の取得による支出	△20,417	△9,476
投資有価証券の取得による支出	△341	△216
その他	△11,162	△124,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△506,350	△315,959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	920,000	650,000
長期借入金の返済による支出	△500,000	—
リース債務の返済による支出	△319,786	△301,690
配当金の支払額	△764,125	△764,125
その他	△20,000	△30,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△683,912	△445,815
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,253	△147,398
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△253,902	△59,601
現金及び現金同等物の期首残高	31,153,161	28,265,673
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,899,258	28,206,071

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告 プロダクション	コンテンツ プロダクション	メディア	プロパティ	物販			
売上高								
外部顧客への売上高	11,171,157	4,524,913	4,843,349	3,546,129	2,931,524	27,017,073	—	27,017,073
セグメント間の内部 売上高又は振替高	301,371	2,809,566	163,874	287,225	318,238	3,880,276	△3,880,276	—
計	11,472,529	7,334,479	5,007,224	3,833,354	3,249,762	30,897,350	△3,880,276	27,017,073
セグメント利益又は損失 (△)	826,884	942,799	696,139	△1,359,122	△93,806	1,012,894	△116,882	896,012

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△116,882千円には、セグメント間取引消去90,851千円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)863,411千円及び全社費用△1,071,145千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告 プロダクション	コンテンツ プロダクション	メディア	プロパティ	物販			
売上高								
外部顧客への売上高	12,130,511	3,998,728	7,918,684	2,864,711	2,870,998	29,783,632	—	29,783,632
セグメント間の内部 売上高又は振替高	273,310	2,961,440	203,573	1,020,901	369,979	4,829,206	△4,829,206	—
計	12,403,821	6,960,168	8,122,257	3,885,612	3,240,978	34,612,839	△4,829,206	29,783,632
セグメント利益又は損失 (△)	1,279,533	772,438	△144,960	△89,843	△60,002	1,757,165	△270,534	1,486,630

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△270,534千円には、セグメント間取引消去△15,441千円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)859,254千円及び全社費用△1,114,347千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。